

令和7年度学校関係者評価結果を受けての今後の取組

標記について、令和7年度の自立支援局運営方針及び組織目標に則して、今年度は以下について重点的に取り組めます。

1. 教育環境:安全で快適な施設環境を目指した取組

医療教育に必要な設備の更新、安全管理体制及び防災体制の適切な運用を継続して実施します。

なお、教室内の照明環境の改善及び消費電力の削減を図るため、蛍光灯照明器具をLED照明器具に更新する計画を進めています。また、施設設備の老朽化に伴う修繕修理につきましても、予算要求等を行い、適切に実施していきます。

2. 教育活動:あん摩マッサージ指圧、はり、きゅうの臨床力向上のための取組

これまで当センターが実施していた2年次の応用実習における臨床実習前施術実技試験のうち、医療面接及び身体診察の評価については自立支援局4センター共通の評価指針に基づいて行うことにより、3年次の臨床実習に向けて、より一層の臨床力向上を目指します。

3. 学修成果:あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師国家試験合格に向けた取組

これまで当センターが実践してきた中・長期的かつ幅広い教育支援を「受験対策プログラム」として整備し、それに基づき1年生には初期学習支援、2年生には実力試験結果等からの個別支援、受験学年には早期から本格的な受験対策を実施します。また、長期休業期間は全学年を対象とした特別支援を計画し、学力と実技力の向上に努め、今年度も継続して、現役受験生全員の国家試験合格を目指します。

加えて、前年度の国家試験不合格者の再受験と国家試験合格に向けた支援を行う「再医療教育(独自事業)」を8月末から開講します。

4. 利用者の募集・受け入れ:利用者増に向けた取組

関係機関(市区町村、ハローワーク、病院、相談支援事業所等)への郵送や訪問による募集活動を継続して実施します。

今年度は訪問地域を広げ、より積極的に広報活動を行っていきます。また、新たに、動画・SNS を広報に活用できるよう環境作りに取り組んでいきます。

さらに、当センターの機能をより多くの方に知っていただくために、下記のイベントへの出展や講座等を開催します。

- ・地域の催しや視覚障害関係の機器展等への相談ブースの出展
- ・視覚障害者のスマートフォン操作を地域でサポートできる支援者養成講座
- ・視覚障害者への接し方、誘導方法についての講習会
- ・腰痛を和らげるツボ療法等をテーマとした地域住民を対象にした公開講座

以上